

茨城ブロック協議会

副会長方針

茨城ブロック協議会

気高い人間力開発室担当兼西エリア担当

副会長 高田稔美

今の日本はみんながどこかおかしいと感じているはずですが。しかしおかしさも連日続く当たり前のようになってきてしまう。目先の豊かさを追い求め続けた結果、社会が崩壊への道をたどっている様相もうかがえます。2007年も企業による不祥事、反社会的な行動や事件、事故がマスコミを連日のように騒がせておりました。隠蔽、虚偽、不正が日常化し「企業は社会の公器である」という企業倫理観が忘れ去られているかのようです。

このような時代に必要とされる事は「こころ」だと思います。日本人は古来、互助、協調の精神に満ち溢れた民族でした。今こそ、こうした長い歴史と伝統に引き継がれた精神性を見直す時期に来ていると思います。日本人の古きよき精神性、特に「武士道」に詠われた「ならぬものはならぬ」の言葉のように、揺るがない強い精神性を呼び覚ませるような研修を行いたいと考えています。「人間力」もこの時代を生きるための重要なキーワードです。「人間力」を高めるには一人ひとりができる事を見つめ直し、社会に貢献できる人材として、己を磨く事が重要であります。気品と気概あふれる人間力の創造を図るべく、いかに情熱と勇気を持ち、困難に立ち向かってゆける「胆力」をつける事ができるかを視野に入れ、事業に取り組みます。また、このような時代背景の中で、会員企業が健全で明るく元気になれるような、そして己を律し、「利他の精神」のもと、真の青年経済人としてさらに進化していくためのセミナー等にも力を注ぎます。どの事業も参加して下さった皆様に、「来て良かった。」とだけ思っただけの事業展開が最大の目標です。エリア担当としては西エリアを担当させていただきます。ブロック協議会と各青年会議所の橋渡し役として、ブロック協議会のスケールメリットを生かし、7LOMの皆様と連携し、活力ある西エリアを創造していきたいと思っております。

私は青年会議所活動の一番の意義は「自己の存在意義の再確認」だと考えています。この世に生まれ、生きる機会をいただき、生かされている。これは仕事の為だけ、家族の為だけでは決してないはずですが。地域の為に活動できる事を感謝し、出会いに感謝し「誰のための何のためのJC活動なのか」を常に考えながら、確かな未来を創造していきたいと考えております。皆様の御指導をお願い申し上げます。副会長方針とさせていただきます。